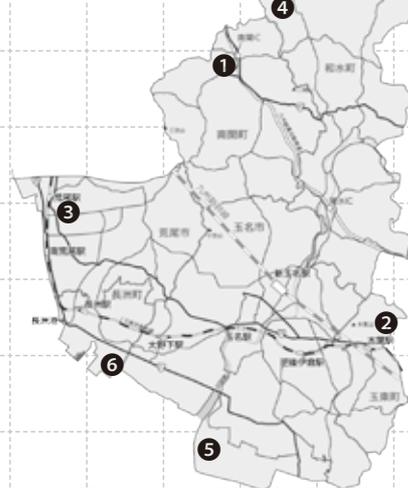


# 巡る

- ①南関御茶屋跡
- ②正念寺
- ③宮崎兄弟の生家施設
- ④鬼丸眼鏡橋
- ⑤干拓施設
- ⑥有明ソーラーパーク



## 3 明治

宮崎兄弟の生家施設（荒尾市）

宮崎兄弟の生家施設は揺れ動いてやまぬ近代日本の方針やアジアを植民地として狙うヨーロッパの帝国主義に抵抗し、活動した宮崎兄弟の軌跡を振り返る施設です。辛亥革命を指導した孫文と宮崎滔天の友情の物語は有名で、日中友好のシンボルの施設となっています。最近では滔天の長男・龍介に注目が集まっており、10月4日(土)には現在開催中の「宮崎龍介展—白蓮が愛した男の生涯」に合わせ、リレー講座も行います。



## 1 江戸

南関御茶屋跡（南関町）

南関御茶屋は、嘉永5(1852)年に完成し、藩主が参勤交代する時などに休憩、宿泊で利用していたものです。大政奉還後、御茶屋は国有化され、学校などとして利用されていましたが、明治25(1892)年に個人所有になり、「御茶屋跡」として、料亭などとして利用されました。

平成15年8月に国の史跡に指定され、同年から保存修理工事に着手。平成17年5月に落成しました。

西南戦争の弾痕が残る正念寺の山門は、国指定史跡の一つ。ちなみに、玉東中の校歌には「…西南の戦史彩るふるさに芽生えた愛の赤十字、村の誇りと伝えよう」とある。



## 2 幕末

正念寺（玉東町）

西南戦争（田原坂戦）時に、木葉の徳成寺、正念寺、植木町境木の民家に包帯所が設けられましたが、軍医が足りませんでした。それを知った玉東の町医者は日夜将兵の手当てに従事。これを見た元老院議員佐野常民が町医者の献身的な行為に感激し、敵味方の区別なく救護する「博愛社」の結成を決意しました。そして征討総督有栖川宮熾仁親王に許可を得て誕生した博愛社は、後に日本赤十字社となりました。



南関町マスコットキャラクター  
なんかんトツパ丸

NHKの大河ドラマで有名な天璋院篤姫も嘉永6年(1853)、薩摩から江戸へ輿入れする途中に南関御茶屋で休憩をとったんだ。



ぎよくどう勝手に宣伝隊